

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児音楽・身体表現法Ⅱ		古木 竜太	演習	2	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	保育内容身体表現、幼児音楽・身体表現法Ⅰで身につけた身体表現技能について、さらなる技能向上を目指しながら、保育現場における身体表現活動の実践方法について学び、適切な指導・援助ができるようになる。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	「表現」領域からみた身体表現	領域「表現」に基づいた身体表現の特性や他領域との関連性について			
2	動きの追求・身体表現法（1）	新聞紙の動きを模倣した身体表現			
3	動きの追求・身体表現法（2）	ねんどの動きを模倣した身体表現			
4	動きの追求・身体表現法（3）	植物を題材とした身体表現			
5	動きの追求・身体表現法（4）	動物を題材とした身体表現			
6	動きの追求・身体表現法（5）	自動化された動きによる身体表現（職業編）			
7	小作品発表（1）	既習の学習内容を踏まえた小作品の創作（実技試験・練習）			
8	小作品発表（2）	既習の学習内容を踏まえた小作品の創作（実技試験・本番）			
9	リズム体操の創作（1）	リズム体操の創作（選曲・振付など）			
10	リズム体操の創作（2）	発表・鑑賞			
11	身体表現活動の指導・援助法(1)	指導計画の立案および指導計画に基づいた表現活動の実践			
12	身体表現活動の指導・援助法(2)	「良い」動きとは？評価の観点について			
13	身体表現活動の指導・援助法(3)	身体表現活動における有効な言葉かけについて			
14	身体表現活動の指導・援助法(4)	上演過程における指導・援助法について (テーマの設定、構成、選曲、衣装、演出など)			
15	幼児に望ましい身体表現活動	これまでの学習から、保育現場に求められる幼児に望ましい身体表現活動を考える。			
参 考 書	『身体表現』の学習(荒木恵美子、磯島紘子、井上邦江編著. 遊戯社. 2003年再版) 「こどもと教師とでひらく表現の世界」(松本千代栄編著. 大修館書店. 1993年3版)				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	毎回の授業では筆記用具持参。 体操服、指定の上履き(裸足が望ましい)で受講すること。				
評価の方法と時期	授業中の態度および出席状況、実技試験により評価を行う。				